



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,274	5.3	222	33.5	236	38.7	135	35.2
26年3月期第1四半期	2,160	3.5	166	△39.5	170	△39.3	99	△40.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 162百万円(56.3%) 26年3月期第1四半期 104百万円(△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	40.91	—
26年3月期第1四半期	30.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,456	9,198	72.5
26年3月期	12,216	9,109	73.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 9,025百万円 26年3月期 8,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	5.6	520	10.3	530	10.3	320	11.9	96.87
通期	9,400	7.4	1,160	9.5	1,180	9.1	710	6.0	214.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	3,601,681株	26年3月期	3,601,681株
27年3月期1Q	298,250株	26年3月期	298,250株
27年3月期1Q	3,303,431株	26年3月期1Q	3,303,682株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動などから一部に弱い動きが見られたものの、企業収益や雇用環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当医療ガス業界においては、業界内の競争激化に加え、医療機関経営の効率化や医療技術の進歩による入院日数の短期化等もあり、厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、グループ各社との効率的な連携を図りつつ現状の経営基盤の拡充を図るとともに、国の在宅医療促進政策を加味して、在宅医療や介護福祉関連など多岐にわたる分野における取扱業務の多様化推進と、経営環境に即した柔軟な経営、並びに社会貢献を念頭に営業力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は2,274百万円（前年同四半期比5.3%増）と増収、諸経費の削減に努めたことも寄与し、連結営業利益は222百万円（前年同四半期比33.5%増）、連結経常利益は236百万円（前年同四半期比38.7%増）、連結四半期純利益は135百万円（前年同四半期比35.2%増）と増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門の取扱商品である医療用ガスは、薬剤や医療機器及び医療技術の進歩などにより、従来に比して入院日数が短縮していることから、消費量は鈍化の傾向にあります。このような環境を踏まえ、生産性と収益性のバランスを勘案し、安定供給を旨とし、新規取引先の開拓と既存取引先への高付加価値サービスの提供に注力した結果、売上高は837百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は82百万円（前年同四半期比65.2%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門では、患者様の日常生活を将来にわたってトータルサポートすることを目的に開発した「パレッツ」（無線通信機能を搭載した在宅酸素療法用酸素供給装置に付随する製品）の出荷数が順調に推移し、人口呼吸器やCPAP（持続陽圧呼吸療法：閉鎖型無呼吸症に対応する機器）と併せ販売強化に努めた結果、売上高は858百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益は127百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、多くの医療機関で耐震補強工事及び老朽化による増改築工事の需要が継続している状況です。売上高は248百万円（前年同四半期比32.3%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門では、現在注力中の「プロファンド」（歩行困難な方も、自身の両足でペダルを漕ぐことができ、リハビリ効果も期待できる足漕ぎ車椅子）をはじめとした幅広い商材の拡販に努めた結果、売上高は99百万円（前年同四半期比3.0%増）、商品構成の変化による粗利率の低下などから、セグメント利益は3百万円（前年同四半期比63.0%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は、高度なサービスの提供と居宅介護支援事業者並びに病院の医療相談室へのアプローチが奏功し、入居率は増加傾向にあります。

通所介護施設は「あしつよ・文京」（東京都文京区）に続き、平成26年2月に「あしつよ巢鴨」（東京都豊島区）を開設し、業務範囲の更なる拡大を図りました。それらの結果、売上高は70百万円（前年同四半期比15.3%増）、利益面ではセグメント損失16百万円（前年同四半期セグメント損失17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は12,456百万円(前連結会計年度末比239百万円増)となりました。これは主に現金及び預金が78百万円、受取手形及び売掛金が35百万円、投資有価証券が45百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,258百万円(前連結会計年度末比150百万円増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が127百万円、賞与引当金が43百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は9,198百万円(前連結会計年度末比89百万円増)となりました。これは主に、四半期純利益の計上や配当金の支払い等による利益剰余金の増加60百万円とその他有価証券評価差額金の増加等26百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が39,468千円増加し、利益剰余金が24,303千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ959千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,874,716	5,952,891
受取手形及び売掛金	1,613,729	1,649,692
たな卸資産	106,388	137,969
繰延税金資産	77,160	77,316
その他	79,634	106,741
貸倒引当金	△5,343	△5,532
流動資産合計	7,746,286	7,919,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	608,219	598,154
土地	1,870,975	1,870,975
その他(純額)	703,669	740,491
有形固定資産合計	3,182,864	3,209,621
無形固定資産	72,413	65,224
投資その他の資産		
投資有価証券	593,406	638,921
その他	623,222	625,178
貸倒引当金	△1,660	△1,659
投資その他の資産合計	1,214,968	1,262,440
固定資産合計	4,470,246	4,537,286
資産合計	12,216,533	12,456,365
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,418,084	1,546,066
1年内返済予定の長期借入金	117,683	88,274
未払法人税等	210,117	89,827
賞与引当金	86,700	130,050
その他	616,547	685,546
流動負債合計	2,449,132	2,539,765
固定負債		
役員退職慰労引当金	416,340	455,790
長期預り保証金	12,151	12,884
その他	229,866	249,702
固定負債合計	658,358	718,376
負債合計	3,107,491	3,258,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	8,420,756	8,481,102
自己株式	△510,742	△510,742
株主資本合計	8,859,902	8,920,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,563	75,974
退職給付に係る調整累計額	30,064	28,920
その他の包括利益累計額合計	79,627	104,894
少数株主持分	169,511	173,079
純資産合計	9,109,041	9,198,223
負債純資産合計	12,216,533	12,456,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,160,379	2,274,488
売上原価	1,033,548	1,125,359
売上総利益	1,126,830	1,149,129
販売費及び一般管理費	959,918	926,298
営業利益	166,912	222,831
営業外収益		
受取利息	433	1,167
受取配当金	2,585	2,747
受取保険金	-	8,464
その他	2,110	2,027
営業外収益合計	5,128	14,406
営業外費用		
支払利息	1,780	1,023
営業外費用合計	1,780	1,023
経常利益	170,260	236,214
税金等調整前四半期純利益	170,260	236,214
法人税等	69,245	98,808
少数株主損益調整前四半期純利益	101,014	137,406
少数株主利益	1,082	2,260
四半期純利益	99,932	135,145

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101,014	137,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,226	26,703
退職給付に係る調整額	-	△1,132
その他の包括利益合計	3,226	25,570
四半期包括利益	104,241	162,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,490	160,412
少数株主に係る四半期包括利益	751	2,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	816,303	823,603	188,006	96,690	60,807	1,985,411	174,967	2,160,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,460	—	—	4,460	—	4,460
計	816,303	823,603	192,466	96,690	60,807	1,989,871	174,967	2,164,839
セグメント利益 又は損失(△)	50,123	104,300	△2,731	9,434	△17,485	143,640	24,215	167,856

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	143,640
「その他」の区分の利益	24,215
セグメント間取引の消去	△943
四半期連結損益計算書の営業利益	166,912

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	837,325	858,820	248,684	99,552	70,098	2,114,482	160,006	2,274,488
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	14,780	—	—	14,780	—	14,780
計	837,325	858,820	263,464	99,552	70,098	2,129,262	160,006	2,289,268
セグメント利益 又は損失(△)	82,792	127,613	1,960	3,493	△16,972	198,886	25,299	224,186

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	198,886
「その他」の区分の利益	25,299
セグメント間取引の消去	△1,354
四半期連結損益計算書の営業利益	222,831

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。